

三島市DX推進計画【概要版】

【目指すべきビジョン】

デジタルを活用して市民生活の質と幸福度（ウェルビーイング）の向上を目指す DX先進都市・みしま

【位置づけ】

- ・第5次三島市総合計画の将来都市像の実現をデジタルの側面で推進
- ・官民データ活用基本法における市町村官民データ活用推進計画と整合

【期間】

令和5年度（2023年度）から令和7年度（2025年度）までの3年間

ビジョンを実現する3つの基本方針

基本方針1 利便性の高い市民サービス

- 1 行政手続のオンライン化
⇒窓口にいなくてもよい市役所
●手続き・届出を計画的にオンライン化
- 2 窓口業務の迅速化
⇒来庁者をお待たせしない窓口
●「書かない窓口」やキャッシュレス化の推進
- 3 マイナンバーカードの活用と普及促進
⇒「書かない」「待たない」など利便性を感じるサービス拡充
●コンビニ交付サービスの利用率向上
- 4 情報発信の強化
⇒必要な情報が相手に届く情報発信
●インターネットによる情報発信の充実

基本方針2 効率的な行政運営

- 1 自治体情報システムの標準化・共通化
⇒令和7年度を期限とした国が定める20業務の標準化・共通化
●標準準拠システムへの計画的な移行
- 2 業務の棚卸とBPRの推進
⇒業務手順の見直しによる事務処理の効率化
●業務棚卸と業務マニュアルの整備
- 3 庁内ペーパーレス化の推進
⇒紙の印刷や保管が不要な業務への変革
●公文書決裁の電子化、文書のデジタル化推進
- 4 庁内業務のシステム化の推進
⇒先端技術を用いた人為的ミスや作業時間の短縮
●RPAやノーコードツールによる業務改善
- 5 職員の働き方改革
⇒ICTによる時間や場所を有効に活用した働き方改革の推進
●テレワーク端末活用による業務継続の推進
- 6 情報セキュリティの強化
⇒市民の大切な情報を守るセキュリティ対策
●情報セキュリティポリシーの順守

基本方針3 地域社会のDX推進

- 1 官民連携によるデータ利活用の推進
⇒官民データを活用した地域課題などの解決や新たな価値の創出
●オープンデータの積極的な公開とデータ活用による地域課題解決の推進
- 2 地域社会のデジタル化とデジタルデバイス解消
⇒地域でパソコンやスマートフォンの操作を支援
●高齢者等デジタルに不慣れな方への操作支援や通信基盤整備
- 3 未来を担う子どもたちへの充実した教育環境の提供
⇒個別最適化された学びと創造性を育む学びを実現し、Society5.0を生き抜く力を育成
●児童生徒の情報活用能力の育成

DX推進の視点

- ア 人口減少・少子高齢化における市民サービスの維持・向上
- イ 誰一人取り残されない
- ウ デジタルファースト
- エ 利用者目線の徹底と業務改革
- オ DX推進のために自律的に行動する職員を育てる組織風土
- カ 先進技術の動向
- キ 持続可能な開発目標（SDGs）との連動

事例集で具体的な取り組みを紹介しています

